

EEM410 医療特論Ⅲ

4年 1,2クォーター

担当教員 出口 洋二

授業形態 講義

アクティブ・ラーニング 一部導入

単位数 2

曜日・時限 未定

授業概要

物理的・化学的・生物的・人工的・社会的環境要因の保健対策における現状と課題について理解する。

到達目標

大学におけるグループ学習のメリットを体得し、種々の環境要因に対する保健対策について口頭および文書における表現力を高めることができる。

先修科目

なし

教科書・参考資料等

藤沢晃治著『分かりやすい説明の技術』講談社ブルーバックス B1387

小笠原喜(ひろ)康(やす)著『大学生のためのレポート・論文術』講談社現代新書 1603

環境省編『環境白書(平成29年度版)』

福井県『環境白書(平成25～29年度各年版)』

田中共子編『よくわかる学びの技法』第2版 ミネルヴァ書房

松野弘編著『大学生のための「社会常識」講座』ミネルヴァ書房

授業の方法

学生が発表した学修内容に教員が補充説明をする講義形式

成績評価

レポート評価点は、調査の深さ・理解の深さ・論理性・平易性・印象深さの5項目について他班のメンバー全員が採点した平均値とする。発表評価点は発表当日出席した他班のメンバー全員が毎回10点満点で採点し、その平均値を合計し30点満点に換算する。班員の寄与率は班長が自己の寄与を100として評価する。質問票評価点は、提出した質問票に対して、発表担当班が合議の上で10点満点にて採点したものを個人別に合計し、40点満点に換算する。

成績

総合評価点 = [班別寄与評価点(60点) + 個人別寄与評価点(40点)] × 出席率

班別寄与評価点(60点) = {レポート評価点(30点) + 発表評価点(30点)} × 寄与率

個人別寄与評価点(40点) = 質問票評価点(40点)

授業スケジュール

第1回:

学生が学修したいと思う環境要因からテーマを選びグループを編成する。

第2回:

環境要因の健康影響の現状・課題・対策について班毎に検討する。

第3回～第11回:

班毎の発表と質疑・応答(各班3回)。

他班見と教員のアドバイスを受けて情報収集を行う。

調査した内容をまとめ、印刷配付資料やパワーポイントを使って説明する(各班20分)。

他班から発表に対する評価と質問を受ける(質問返答票を使用)。

次回発表日の前日までに、質問内容に対する回答と評価を質問返答票に記載して教員に提出し、チェックを受けた後、次回発表日に質問者へ返却する。

第3回：室内環境衛生・地球温暖化・廃棄物処理の現状

第4回：水質保全・大気環境・化学物質の現状

第5回：感染症・食品衛生・放射線の現状

第6回：室内環境衛生・地球温暖化・廃棄物処理の課題

第7回：水質保全・大気環境・化学物質の課題

第8回：感染症・食品衛生・放射線の課題

第9回：室内環境衛生・地球温暖化・廃棄物処理の対策

第10回：水質保全・大気環境・化学物質の対策

第11回：感染症・食品衛生・放射線の対策

第12回：班毎にA4版12ページ程度のレポート原稿を作成し、教員の指示を受けて修正。

第13回：修正したレポートを印刷。

第14回：学生全員に配付する。

第15回：他班のレポートに対する達成度を評価する。

事前・事後学習

予習：自班のテーマについて、発表にむけた事前調査とスライド作成に週平均2時間

復習：質問票への返答のための事後調査と他班に出した質問への返答内容の理解に1時間